

第 25 期 科学者委員会 学協会連携分科会  
第 2 回分科会議事要旨

- 1 日時 令和 3 年 2 月 5 日（金） 10:00～12:20
- 2 場所 オンライン会議
- 3 出席者 勝野正章委員、溝端佐登史委員、若尾政希委員、小林武彦委員、小松浩子委員、丹下 健委員、望月眞弓委員、高田保之委員、田近英一委員、山口 周委員、米田雅子委員、高倉喜信委員、北川雄光委員、熊谷日登美委員、中野義昭委員、川口慎介委員

4 議題

(1) 第 1 回分科会議事要旨（案）の承認

米田委員長より、資料 2 にもとづき、前回議事要旨案が説明され、承認された。

(2) 「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて（中間報告）」および学協会・学会連合と日本学術会議の連携のあり方について

米田委員長より、資料 4 にもとづき、学協会や大学等からの声明発出の現状が説明され、声明一覧に関しては学協会連携分科会が作成し、その結果を同分科会から四役会議・幹事に伝えることを確認した。

望月委員より資料 3 にもとづきアンケート回答の状況について説明を受け、米田委員長より資料 6 にもとづき中間報告に関する論点と自由民主党 PT 提言の学協会に関連する部分の説明を受け、委員による意見交換が行われた。学術会議と学協会の双方向での対話機会を拡大する方途、連携のための組織のあり方などが論点となった。

米田委員長が、本日の議論を踏まえて、日本学術会議と学協会の対話機会の拡大に関する具体的な方策をまとめて、「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」の最終報告案に記載されるように提案することになった。

また、委員長より、学協会および連合体に関する問題は、各部ごと、分野ごとに多様であるため、分科会として引き続き議論を続けることが提案された。

次回の分科会では、各委員に各分野の現状と課題をまとめてメモを作成していただき、そのメモをもとに議論を深める予定となった。